

地域の安全・安心を目指して！

地域防災講演会 ～東日本大震災を語り継ぐ～

平成28年1月24日(日)平成27年度第2回地域防災講演会を南牟婁郡御浜町の中央公民館ホールにて、地域の皆さんら約100名を集め開催しました。

講演会は、東日本大震災被災地である宮城県石巻市を内外の女性からの視点で、2部構成とし、第1部は一般社団法人キャンパス東北の山田葉子さんに「避難所の運営」。第2部は公益

山田さんは街の被災映像を交えながら、被災者として避難所運営に女性視点を取り入れながら携わった経験や、生活支援の活動、自ら感じたこと。

藤間さんは震災直後、現地で行われていた様々なボランティア活動の紹介や、時間の経過で変化していった活動内容、現在も携わり続けている理由などが紹介されました。

今回の東紀州地域の講演会で避難所運営やボランティア活動経験談は、集まった聴衆者に感銘、感動を与えました。

これらの当建設技術センター講演会活動の取り組みは、8月29日朝日新聞朝刊全国版の防災連載特集「てんでんこ」にも掲載されました。

今後も引き続き防災講座や講演会を通じ、より一層の社会貢献を果たすとともに、地域の安全・安心を目指してまいります。



熱心に講演する藤間千尋さん



講演会参加者に取材する朝日新聞東京本社：黒沢記者

職場で建設技術スキルアップ！

市町のご要望に応じた研修を行ないます

自治体職員が必要とする技術のスキルアップのため、行政出前講座を各市町などを対象に実施しています。内容は各自治体の要望に応じて必

要とする専門技術、知識の修得を図ることを目的としています。

研修は「出前講座」で各職場において開催するため、時間、経費面のメリットもあり好評を得て、平成19年度以来、18市町等91研修を実施しました。

近年は職階層別研修も支援させていただき、初任者から管理職までの様々な研修を実施しています。

平成22年度から、各自治体の協議会研修の事務局支援として、工事検査など現地研修の企画、運営を行い、



より充実した研修の提供を行なっています。

《主な研修内容》

工事監督、工事検査、工事施工管理、災害復旧、積算、道路計画設計、舗装技術、仮設工、建設プレゼンテーション、土地区画整理、技術公務員の役割など

《実績》

建設技術職員研修

三重県、津市、四日市市、松阪市、桑名市、名張市、亀山市、いなべ市、志摩市、伊賀市、明和町、多気町、度会町など

団体事務局支援研修

三重県土地区画整理研究協議会
三重県市町工事検査担当協議会



専門知識を習得！建設技術研修

自治体職員および民間建設関係社員の技術力の向上を目的として、基礎的な知識を学ぶことを主眼に置き、専門研修を開催しています。

平成28年度は実務、法令、教養、資格受験などの専門分野で25研修を開催する予定。

昨年度から市町技術職員に対し、三重県が研修費を負担する制度が新しくスタートし本年度もこの制度を活用され、28市町から21研修266名の皆さんが技術力向上のため受講されています。

これらの建設技術研修は

「三重県建設産業活性化プラン」に当建設技術センターの専門研修が認定されたことから、数多くの建設CPD研修を民間技術者が受講され、技術力のレベルアップの一助となっています。

(H28 CPD実績:223名)



就業体験

高校インターンシップ実習

平成28年度も7月25～27日、インターンシップ制度により県立久居農林高等学校から土木系生徒4名を受け入れました。

大変、蒸し暑い雨天での実習でしたが、トンネル点検、下水道台帳の現地調査を体験されました。実習生は当建設技術センター職員の指導で、とまどいながらも初めての作業にメモを取り、ひとつひとつ丁寧に取り組んでいました。



編集後記

はや本年度も上半期が過ぎてしまいました。ようやく残暑も終わり、スポーツや秋祭り、食べ物のおいしいシーズンがやってきました。

建設技術研修も計画どおり実施し、下半期は地域防災講座、防災講演会を中心に各地へ出向いて研修を展開していきます。

研修・講演会などを通じて多くの県民の方々との出会いを大切に、三重県建設技術センターが親しみを感じていただけるよう交流を図り、公益財団法人としての社会貢献を果たしていきたいと思います。

